

公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター 令和元年度 事業報告書

公1：景観まちづくり事業

住民主体のまちづくりの実現と、歴史都市・京都の美しい景観、良好な環境を具現化し、京都の都市としての品格を高めるとともに都市活力の向上に寄与することを目的とする。

1 各種情報の収集、発信及び啓発

(1) 広報活動事業

ア ニュースレター「京まち工房」

景観・まちづくりに関する各種情報及び地域、関係団体等の活動状況、当財団の事業等を掲載した広報紙ニュースレター「京まち工房」を発行した。平成30年度から表紙に京都を題材にした漫画を数多く手がけているグレゴリ青山さんが、漫画「京都人の京都知らず」にて京町家やまちづくりの知られざる一面を描き、賛助会員及び関係団体、大学、区役所等に配架し、広く市民のまちづくりに対する意識を普及・啓発した。

- ・発行回数：年4回（6月、9月、12月、3月）
- ・発行部数：各号4,500部
- ・配布先：賛助会員、全国のまちづくり関連機関、京都府下大学等

号数	発行日	概要
第87号	R01.6.20	(特集) まちづくり講座オープンキャンパス 「京町家相談会」 他
第88号	R01.9.20	(特集) 防災まちづくり 「大工さんに聞く京町家改修」 他
第89号	R01.12.20	(特集) 洛中洛外図の下京を歩く 「京町家の魅力を伝えるためにできること」 他
第90号	R02.3.20	(特集) 景観・まちづくり大学 「どうする避難所運営！」 他

イ 財団ホームページ等

平成28年3月に新規開設した財団ホームページを活用し、当財団の取組や景観・まちづくりに関する最新情報を発信した。また、財団公式フェイスブックページでは、イベント情報や当財団の活動状況等を積極的に発信することで情報力強化に努めた。

- ・財団独自ホームページアクセス件数 67,510件（平成30年度末実績 64,439件）
- ・ひと・まち交流館内・センター（施設）ホームページアクセス件数 209,743件（平成30年度末実績 239,132件）
- ・メールマガジンの配信 29回（平成30年度末実績 34回）
- ・メールマガジン購読者数 1,815人（平成30年度末実績 1,788人）
- ・公式フェイスブックページ投稿数 95件（平成30年度末実績 37件）

ウ 各種啓発冊子、技術資料等の販売

当財団が発行する書籍や受託販売書籍、京町家等組み立てキットなど、景観・まちづくりに関する各種啓発冊子等を販売した。

(ア) 冊子等の販売

- | | |
|----------------------------------|------------------------|
| ① なるほど！「京町家の改修」 | ((公財) 京都市景観・まちづくりセンター) |
| ② 京町家の再生 | ((公財) 京都市景観・まちづくりセンター) |
| ③ 京町家物語 | ((公財) 京都市景観・まちづくりセンター) |
| ④ Kyoto Machiya Restaurant Guide | (Judith Clancy) |
| ⑤ 町家型共同住宅設計ガイドブック | (京都市) |
| ⑥ 大学的京都ガイド | (株式会社昭和堂) |
| ⑦ 京都・岡崎年代史 | (京都岡崎魅力づくり推進協議会) |
- 他

(イ) 京町家キット等の販売

- | | |
|---------------|------------------------|
| 京町家等の組み立て式キット | (株式会社さんけい) |
| 京町家ポストカード | ((公財) 京都市景観・まちづくりセンター) |

(2) 景観・まちづくり大学等

住民の主体的な地域まちづくり活動の展開に向けて、住民が自らの居住する地域を理解し、魅力あふれる安心・安全なまちづくりを自らの役割として自覚し、地域ごとの具体的な課題解決に向けた取組を進める必要がある。

そのため、令和元年度は、引き続き、まちづくりの担い手育成を目指し、まちづくりに取り組むうえで基礎的な知識等を習得する講座を実施するとともに、まちづくりに関心のある方がまちづくり活動を始める契機となるよう、地域課題解決に向けたより実践的な内容の講座も実施した。

京町家の保全・再生に向けては、「京都市京町家の保全及び継承に関する条例」の施行に伴い予想されるニーズの増加に対応するため、京町家の所有者、居住者を主な対象とし、その他、居住や利活用を検討している方等にも参考となる、実践を重視したカリキュラムへの見直しを行い、京町家の継承等に係る基本的な課題解決を図った。

ア 京町家再生セミナー

主に京町家の所有者、居住者を対象に、町家の暮らし、活用、継承への実践的知識を深めるため、京町家の維持管理、改修、活用、相続等について専門家による講義を行った。

※内容（全9回）有料 1回500円（通年受講は2,000円）

開催日	講座名	講師（話し手）	出席者
H31. 4. 25	京町家に安心、安全に暮らし続けるために	木村忠紀氏（榎木村工務店） 奥田辰雄氏（木四郎建築設計室）	14
R1. 5. 23	京町家の改修に役立つ助成制度を知る	京都市各助成金担当	18
R1. 6. 15	大工さんに聞く京町家改修	田原利晃氏・狩野文博氏（京都府建築工業協同組合）	21
R1. 7. 25	京町家の保存と活用にむけての改修事例	古賀芳智氏	35

R1. 9. 26	京町家の税金について学ぶ	辻本尚子氏 (㈱みやこ不動産鑑定所)	24
R1. 10. 19	京町家の座敷飾り 重陽の節句を愉しむ	伊藤正人氏 (大阪市立大学名誉教授)	15
R1. 11. 27	京町家を売るとき・貸すときの イロハ	井上信行氏 (エステイト信・京町家情報センター幹事)	27
R1. 12. 1	京町家の初冬の庭 庭師とともに夕暮れの庭を訪 ねる	木村孝雄氏 (㈱京都景画・京都府伝統産業 優秀技術者「京の名工」)	21
R2. 1. 25	備えて安心 京町家の相続と税金 「京町家の保全・再生」 「京町家の相続と税」	井上誠二氏 (一社 京都府不動産コンサルティング協会) 武村治寿氏 (一社 相続相談センター・税理士法人総合経営)	19
R2. 2. 27	京町家ではじまる「温故知新」 な暮らし	美濃羽まゆみ氏 (手作り暮らし研究家)	中止
合 計			194

イ 京のまちづくり史連続講座

まちづくりに関心の高い市民、学生、専門家を対象に、京都の景観形成とまちづくりの歴史を学び、京都の景観形成に資するまちづくりに対する理解を深めた。

市民を対象に、京都のまちづくりの歴史を学びこれからのまちづくりを考えた。

※内容 (全 10 回) 有料 1 回 1,000 円 (10/1 から 1,010 円、通年受講は 5,000 円)

開催日	講座名	講 師	出席者
R1. 5. 24	京のまちづくり史：古代から近世	高橋康夫氏 (京都大学名誉教授)	24
R1. 6. 28	京都の近代：歴史都市はどうデザインされたか	中川理氏 (京都工芸繊維大学教授)	21
R1. 7. 26	まちづくりの場としての元校舎 - 明倫学区を事例に -	和崎光太郎氏 (浜松学院大学短期大学部講師、京都市学校歴史博物館顧問)	29
R1. 8. 9	地蔵盆とまちづくり	前田昌弘氏 (京都大学大学院講師)	36
R1. 9. 28	まちあるき講座「鴨川・高瀬川・先斗町 花 街成立の都市空間を歩く」	神戸啓氏 (先斗町まちづくり協議 会事務局長)	20
R1. 10. 25	「山紫水明」の真実	中嶋節子氏 (京都大学大学院教授)	24
R1. 11. 22	歴史と水辺のまち 京都岡崎の文化的景 観	石川祐一氏 (京都市文化財保護課 主任・文化財保護技師)	30
R1. 12. 10	北山杉の里の集落・民家・小屋・暮らし	大場修氏 (京都府立大学大学院教 授)	32
R2. 1. 24	地図で読む 市街地の拡大	河角直美氏 (立命館大学准教授)	32
R2. 2. 21	都心回帰と縮小社会のコミュニティ運営	田中志敬氏 (福井大学講師)	21
合 計			269

ウ 地域まちづくりセミナー

京都のまちがこれからも「住み心地良いまち」であることをめざし、「都市格のあるまち」について改めて考えることを目的として講演・対談を開催した。

開催日	名称	実施内容	参加者
R1. 5. 12	都市格のあるまちとは	宮本憲一氏（大阪市立大学名誉教授、滋賀大学名誉教授） 寺田 弘氏（粋なまちづくり倶楽部元理事長） 石本幸良氏（京・まち・ねっと代表）	27
R2. 2. 29	防災をきっかけに始めるまちづくり 大災害で避難所開設、その時まちに何が起ころのか？	頼政良太氏（被災地 NGO 協働センター）	中止

エ 各種団体等との協働セミナー等

景観・まちづくりに関わる、地域、市民団体、職能団体、NPO法人、学会、他都市の中間支援組織等との協働により、セミナー等を共催した。

(7) 景観エリアマネジメント講座

まちづくりに関わる様々な分野の専門家を対象に、京都の景観に対する幅広い知識と高い見識を持つ人材を養成することを目的として、その知識を得るための基礎講座、フィールドワークを中心に地域での活動に必要なスキルを得るための実践講座をNPO法人京都景観フォーラムとの共催事業として開催した。

・基礎講座（全8回）

回	開催日	内 容	講 師	出席者
1	R0. 7. 6	基礎理論 (1)	堀繁氏（東京大学大学院教授）	25
2	R1. 8. 24	基礎理論 (2)	宗田好史氏（京都府立大学大学院教授）	22
3	R1. 9. 14	京都のまちと景観の形成史	高橋康夫氏（京都大学名誉教授） 中川理氏（京都工芸繊維大学教授）	22
4	R1. 10. 19	土木と景観デザイン	山田圭二郎氏（金沢工業大学准教授） 篠原修氏（東京大学名誉教授、GS デザイン会議代表）	20
5	R1. 11. 16	京の文化	矢ヶ崎善太郎氏（京都工芸繊維大学大学院准教授） 谷晃氏（野村美術館館長） 笹岡隆甫氏（華道「未生流笹岡」家元）	21
6	R1. 12. 14	景観政策と法律	岡田圭司氏（京都景観フォーラム） 飯田昭氏（弁護士） 石田光廣氏（司法書士）	20

7	R2. 1. 18	建築とランドスケープ	佐々木葉二氏（京都造形芸術大学教授） 江川直樹氏（関西大学教授）	21
8	R2. 2. 15	景観まちづくり・修了式	高田光雄氏（京都大学大学院教授）	23
合計				174

・実践講座（全7回※講座形式）

回	開催日	内 容	講 師	出席者
1	R1. 6. 22	オリエンテーション		6
		色彩と景観調和について	渡辺安人氏（アーキタイプ工房）	6
2	R1. 7. 7	景観を理解する	堀繁氏（東京大学大学院教授）	6
3	R1. 7. 27	「地域景観づくり協議会の立ち上げと運営」	森川宏剛氏（京都景観フォーラム）	4
4	R1. 9. 14	対話型ファシリテーター講座	和田信明氏（NPO法人ムラノミライ）	7
	R1. 9. 28	フォローアップ講座		4
5	R1. 10. 20	景観まちづくりの現場から	門内輝行氏（京都大学名誉教授）	3
6	R1. 11. 9	発表会・ワークショップ		6
7	R2. 2. 15	個人レポート発表会・修了式		6
合計				48

(イ) 文化財マネージャー育成講座

京都市、NPO法人古材文化の会とともに「京都市文化財マネージャー育成実行委員会」を構成し、同委員会の主催により、歴史的建造物の調査・保存・活用やまちづくりを实践する文化財マネージャー（建造物）を育成することを目的とする「京都市文化財マネージャー育成講座（建造物）」、及び文化財マネージャー（建造物）のスキルアップを目的とする「京都市文化財マネージャー育成講座スキルアップ講座」を開催した。

なお、講座修了者のうち古材文化の会から推薦のあった者について、京町家カルテの文化レポート作成を依頼する等、専門家の育成を図った。

・育成講座（第11期）

回	開催日	内 容	講 師
平成30年度開催			
1	H31. 1. 12	開講式・オリエンテーション 保存・活用概論	永井規男氏（NPO法人古材文化の会） 関岡孝繕氏（京都市）
2	H31. 1. 26	民家建築	中川等氏（大阪産業大学）
		歴史的建造物の継承と暮らし	秦めぐみ氏（秦家住宅）
		見学	京都市登録有形文化財、重要文化財 杉本家住宅

3	H31. 2. 9	住宅建築	日向進氏 (NPO 法人古材文化の会)
		文化財保護法	武内正和氏 (文化庁)
		京都の文化財	石川祐一氏 (京都市)
4	H31. 2. 23	寺社建築	菅澤茂氏 (工学院大学)
		歴史的建造物の技法／瓦葺	寺本光男氏 (瓦葺職)
		歴史的建造物の技法／左官	浅原雄三氏 (左官職)
		指物の技法	大谷普賢氏 (伝統工芸士)
5	H31. 3. 9	演習 1 指定文化財修理の現場見学	京都府
6	H31. 3. 23	循環型社会と保存・活用	浅岡美恵氏 (弁護士)
		保存・活用のマネージメント	宗田好史氏 (京都府立大学)
		歴史的建造物の再生理念	藤岡龍介氏 (建築家)
		観光活用とその課題	糟谷範子 (京都市)
令和元年度開催			
7	H31. 4. 6	庭園の様式	仲隆裕 (京都造形芸術大学)
		近代洋風建築	石田潤一郎氏 (京都工芸繊維大学)
		歴史的建造物の調査と評価	中川等 (大阪産業大学)
8	H31. 4. 27	演習 2 歴史的建造物調査	(建築家、京都市文化財マネージャー)
9	R01. 5. 11	歴史的建造物と耐震補強	井上年和 (京都美術工芸大学)
		保存・活用と再生設計／構造設計	井手晃二 (構造設計家)
		保存・活用と再生設計／意匠設計	木下龍一 (建築家)
		演習 2 の中間報告 修了課題の中間報告	
10	R01. 5. 25	歴史的環境の整備	山崎正史 (立命館大学)
		保存・活用とまちづくり/修徳学区	西田教子 (建築家・文マネ)
		保存・活用とまちづくり/西舞鶴	大滝雄介 (建築家・文マネ)
		演習 2 の講評 演習 3 の説明 修了課題の中間報告	
11	R01. 6. 8	演習 3 保存・活用相談	(建築家、京都市文化財マネージャー)
12	R01. 6. 22	建築基準法・景観法	京都市
		演習 3 の講評 修了課題の中間報告	
13	R01. 7. 6	歴史的建造物と防災対策	益田兼房 (国際記念物遺跡会議文化遺産防災国際学術委員会)
		歴史的建造物の継承と税金	辻本尚子 (税理士)
		修了課題中間発表会	
14	R01. 7. 27	修了課題発表会 (終了後、講座修了式・修了証書授与)	

・文化財マネージャー育成講座スキルアップ講座

開催日	名称	実施内容	参加者
-----	----	------	-----

R02. 2. 24	スキルアップ講座 『京町家の魅力を伝える』	建物調査のポイントや報告書の作成方法について学び、報告書作成のスキルアップを図るための講義及び京町家の見学 講師 大場 修氏（京町家カルテ委員） 栗山裕子氏（京町家カルテ委員） 当財団京町家カルテ担当	13
------------	--------------------------	---	----

2 市民等の活動に対する総合的支援

(1) 地域活動支援

令和元年度は、京都市と連携し防災まちづくりに取り組む地域を重点的に支援するとともに、地域の魅力向上や課題解決に向けて、景観づくりやまちのルールづくりに取り組む地域の支援も継続し、魅力あふれる安心・安全な地域づくりを進めた。

ア 景観・まちづくり相談

当財団職員が、自主的なまちづくり活動に取り組もうとしている地域に対して、様々なアドバイスや各種情報提供等を行い、活動の継続、活動内容の更なる充実につなげた。

相談・支援件数 388件（平成30年度 340件）

【相談・支援内容の分類】

相談・支援内容	元年度件数	30年度件数
地域まちづくり活動、地域の現状等	336	313
マンション問題	22	0
当財団事業概要（まちづくり活動支援事業等）	3	7
景観・まちづくりに関するルール（式目、地区計画、地域景観づくり協議会、建築協定等）	87	91
法律、条例関係（都市計画法、景観法、建築基準法等）	42	52
防災まちづくり	206	172
まちづくりコーディネート事業	330	299
その他（地域課題、講座、学生対応、視察等）	42	104
合計	1068	1038

イ まちづくり専門家派遣

課題に応じて、まちづくりの専門家を地域に派遣し、地域活動を支援した。

※京都市からの委託事業における専門家派遣は別途記載

地区	支援内容
----	------

東山区 弥栄学区 祇園東地域	地域における石畳舗装化について、先進地域の取組事例を参考に検討を進めるため、地域の勉強会に先進地域の役員を派遣した。
左京区 大原学区	平成13年に策定された「京都大原里づくりプラン」は、平成25年に改訂を行った際に都市計画マスタープランの地域まちづくり構想に位置付けられたが、改訂から5年が経過し、大原を取り巻く環境は大きく変化したため、再改訂を行うこととなり、専門家派遣によって取組を支援した。
南区 久世学区 大藪町	大藪町は桂川に近く、近年の想定を超える浸水被害の多発を受け、水害への関心が高まっており、自主防災部を中心とした避難体制を再構築し、早急に取り組むため、専門家派遣を行った。
東山区 古門前元町	防災まちづくりの取組として、町内の行き止まり路地やトンネル路地の安全性の向上に取り組むため、専門家派遣を行った。
下京区 有隣学区	より安心安全に住み続けられるまちの実現に向けて、防災まちづくりの取組を進めており、これまでの防災まちづくりの取組の成果をふまえ、避難所運営マニュアルの作成を検討するため、専門家派遣を行った。
下京区 修徳学区	宿泊施設の急増への対応をテーマに講演会とワークショップを開催するため、専門家派遣を行った。
南区 上鳥羽中唐戸町	地域と地域の活性化が目標である上鳥羽北部いきいき市民活動センターが協働して、公園をコミュニティガーデンとして整備し、上鳥羽全体の市民活動及び緑化活動の基点とする取組を始めるため、専門家派遣を行った。

ウ まちづくり活動助成

まちづくり活動に継続的に取組む地域に対して、運営活動費（活動広報物の作成や地域での勉強会の開催等）を助成した。

地区	支援内容
上京区 笹屋町一丁目町内会	町家の由緒来歴を表した駒札の作成費

東山区 祇園新橋景観づくり協議会	「まちづくりニュース」印刷費
下京区 菊浜まちづくり推進委員会	「菊浜防災まちづくりマッププレート」印刷費
南区 久世学区大藪町	「防災まちづくりニュース」の印刷費
左京区 大原自治連合会	「里づくりプランニュース」の印刷費
東山区 元町凜の会	「元町まちづくりニュース」の印刷費
右京区 嵐山まちづくり協議会	地域景観づくり計画の策定ための「ワークショップ」の開催費用

エ 景観づくり支援（京都市受託事業）

地域の個性を活かした魅力ある景観まちづくりを一層推進するため、京都市が実施する地域景観づくり協議会制度の普及啓発を図るとともに、各地域への専門家の派遣等、制度の活用及び地域活動の充実に向けた支援を行った。

(7) 「京都市地域景観まちづくりネットワーク」の活動支援

京都市に認定された協議会で構成される「京都市地域景観まちづくりネットワーク」の定例会議を企画・運営し、各地域間の情報及び課題の共有と、本制度運用のあり方等の協議を行った。

【「京都市地域景観まちづくりネットワーク」構成団体】（計 11 地区）

(中京区)	先斗町まちづくり協議会、姉小路界限まちづくり協議会、明倫自治連合会
(下京区)	修徳景観づくり協議会
(東山区)	西之町まちづくり協議会、一念坂・二寧坂 古都に燃える会 祇園新橋まちづくり協議会
(右京区)	仁和寺門前まちづくり協議会、京の三条まちづくり協議会、嵐山まちづくり協議会
(西京区)	桂坂景観づくり協議会

(4) 各協議会及び今後制度活用を検討する地域への専門家派遣等の支援

各協議会が実施する意見交換会等の活動や、今後協議会制度の活用を検討する地域の活動に対して、現状にあった支援（専門家派遣等）を行った。

地区	状況	支援内容
東山区 清水学区 一念坂・二寧坂	協議会 設立済 計画書策 定済	「一念坂・二年坂 古都に燃える会」への活動支援 ・元年度は、月例会で出た意見を整理し、具体的なまちづくりの取組として、地域で合意形成を行うための会議運営支援や会議内の意見調整とアドバイスをを行うため、専門家を派遣した。
東山区 弥栄学区 元吉町		「祇園新橋景観づくり協議会」への活動支援 ・元年度は、景観づくり計画の認定後、実施されることとなる。事前協議や課題解決にむけた取組においてアドバイスを受けるため、専門家を派遣した。
右京区 嵯峨学区 嵐山本町地区	協議会 設立済 計画書策 定済	「嵐山まちづくり協議会」への活動支援 ・元年度は、地域景観づくり計画書の策定に向けた支援を行うため、専門家を派遣した。
上京区 嘉楽学区 笹屋町一丁目 【新規】	協議会 設立	「笹屋町一丁目町内会」への協議会設立準備の支援 ・元年度は、地域景観づくり協議会の設立に向けた支援を行うため、専門家を派遣した。
右京区 嵯峨学区 小倉山町 【新規】		「小倉山自治会」への協議会設立準備の支援 ・元年度は、地域景観づくり協議会の設立に向けた支援を行うため、専門家を派遣した。

(ウ) 景観づくり講座「京都景観ゼミナール」の開催

地域の景観に関心をお持ちの方を対象に、「景観まちづくり」に関する基礎知識や景観を見たり考えたりするポイントなどを体験的に学ぶことができる連続講座を開講した。

	日時	テーマ・内容	講師・ゲスト	出席者
1	R1. 10. 3	【そもそも「景観」って何なのかな？】 ・講座の目指す所を共有する ・「景観」とは何か、基礎を理解する ・受講生がお互いを知り合う	門内輝行氏（京都大学 名誉教授）	17
2	R1. 10. 18	【景観はどのように見たらいいのかな？】 ・景観の多様性、捉え方を理解する ・景観の成立要因の理解：暮らし方や生業との関係、保全に関わる力学	柳澤雅之氏（京都大学 東南アジア地域研究研 究所准教授）	14
3	R1. 11. 10	【景観視点でまち探索しよう！】 ・菊浜、稚松を歩き、ポラロイドカメラで 写真を撮ってマップにする ・景観を成り立たせている背景を意識しな がら歩く ・良い景観と阻害要因を見つける	（京都景観フォーラ ム、まちセン）	13
4	R1. 11. 15	【景観視点でまちを診断しよう！】 ・地域の実情や課題を事前に事務局でヒア リングしておき、受講者はそれをもとに景 観を分析する ・グループワークで受講生の協働意識を高	（京都景観フォーラ ム、まちセン）	12

		める		
5	R1. 11. 29	【まちの将来像を描こう！】 ・対象地域の景観の魅力を保全、向上させるためのビジョンを考える ★宿題：発表準備	(京都景観フォーラム, まちセン)	13
6	R1. 12. 13	【広がる、広げる景観まちづくり】 ・グループ発表をする ・サポート体制を知る ・修了式	(京都市景観政策課, 京都景観フォーラム, まちセン)	13
			合計	82

オ 地域の歴史的資産を生かした景観づくり支援（京都市受託事業）

京都の歴史的景観を保全していくため、地域の歴史的資産や特徴を生かした景観づくりの検討を行う地域に対して、専門家を派遣し、その活動を支援した。

地区	支援内容
上京区 小川通・上御霊前界限	景観づくり・まちづくりにつなげるため、昨年度に引き続き、京都市と協働して、「小川・寺之内界わい歴史・文化サロン」を開催し、地域に存在する文化財やその他の歴史的資産、まちの成り立ちや景観特性等の価値の共有を行った。
北区 上賀茂界限	伝建地区から界わい景観整備地区まで対象範囲を広げ、地域の現状や課題、望ましい将来のまちの姿等について、地域住民へのアンケートの実施を行い、今後の地域主体のまちづくり組織の設立に向けた支援を行った。

カ 防災まちづくり専門家派遣（京都市受託事業）

密集市街地内において、「防災まちづくり」に取り組もうとする地域に専門家を派遣し、防災まちづくり計画の策定や計画実現のための各種活動に対する支援を行った。

地区	状況	支援内容
中京区 梅屋学区 【新規】	防災まちづくり計画策定に向け取組中	「防災まちづくり計画」の策定に向け、専門家を派遣した。 元年度は、防災まちあるきを実施し、防災課題と地域資源を共有するための地図を作成した。 (防災まちづくりの取組1年目)
中京区 本能学区 【新規】		「防災まちづくり計画」の策定に向け、専門家を派遣した。 元年度は、地域住民への啓発及び課題の共有、地域の実態把握等のため、防災まちあるきを実施した。 (防災まちづくりの取組1年目)
中京区 教業学区		「防災まちづくり計画」の策定に向け、専門家を派遣した。 元年度は、地域住民への啓発及び地域の実態把握等のため、防災まちづくりアンケート、防災まちあるきを実施した。 (防災まちづくりの取組2年目)
東山区 今熊野学区		「防災まちづくり計画」の策定に向け、専門家を派遣した。 元年度は、地域住民への啓発及び課題の共有、地域の実態把握等

		のため、各町対象の防災まちあるきを実施した。 (防災まちづくりの取組2年目)
下京区 菊浜学区	元年度 防災まち づくり計 画策定	「防災まちづくり計画」の策定に向け、専門家を派遣した。 元年度は、さらなる地域住民への啓発及び課題の共有のため、避難行動要支援者を想定しての防災まちあるきや防災リーダー研修会、ハザードマッププレートの作成等を実施した。 (防災まちづくりの取組3年目)
右京区 御室学区*	防災まち づくり計 画 策定済	防災まちづくり計画の実現に向けた活動に対する支援を行った。 元年度は、防災訓練を通じて防災まちづくりの普及啓発、情報発信、学区全体の防災意識の向上に取り組んだ。 (防災まちづくりの取組4年目)
上京区 聚楽学区*		防災まちづくり計画の実現に向けた活動に対する支援を行った。 元年度は、専門家を派遣し、防災ウォークを実施し、防災上の課題と対策の意見交換を実施した。 (防災まちづくりの取組4年目)
上京区 出水学区*		防災まちづくり計画の実現に向けた活動に対する支援を行った。 元年度は、専門家を派遣し、地域の危険個所を中心に防災まちあるきを実施し、対策について意見交換を行った。 (防災まちづくりの取組4年目)
北区 柏野学区*		防災まちづくり計画の実現に向けた活動に対する支援を行った。 元年度は、専門家を派遣し、防災まちあるきを実施した。 (防災まちづくりの取組5年目)
北区 紫野学区*		防災まちづくり計画の実現に向けた活動に対する支援を行った。 元年度は、専門家を派遣し、防災まちあるき、災害図上訓練を実施した。 (防災まちづくりの取組6年目)
上京区 翔鷹学区*		防災まちづくり計画の実現に向けた活動に対する支援を行った。 元年度は、専門家を派遣し、防災まちあるきを実施した。 (防災まちづくりの取組6年目)
上京区 仁和学区*		防災まちづくり計画の実現に向けた活動に対する支援を行った。 元年度は、専門家を派遣し、地域の危険個所を中心に防災まちあるきを実施し、対策について意見交換を行った。 (防災まちづくりの取組7年目)
中京区 朱雀第一学 区*		防災まちづくり計画の実現に向けた活動に対する支援を行った。 元年度は、専門家を派遣し、防災まちあるきを実施し、対策について意見交換を行った。 (防災まちづくりの取組7年目)
中京区 朱雀第二学 区*		防災まちづくり計画の実現に向けた活動に対する支援を行った。 元年度は、専門家を派遣し、地域の危険個所を中心に防災まちあるきを実施し、対策について意見交換を行った。 (防災まちづくりの取組7年目)
下京区 膏薬辻子地 区【新規】		路地・まち防災まちづくり整備計画

東山区 土居之内町 【新規】	策定に向け取組中	路地・まち防災まちづくり整備計画作成の策定に向けた活動に対する支援を行った。 元年度は、建築物、袋路等の現況調査を実施し、隣接する土地及び接続の可能性のある路地に面する土地の所有者等の合意形成に向けた活動を行った。
----------------------	----------	--

- ・【新規】は、令和元年度から新たに支援を行った地域を示す。
- ・※付の地区は、密集市街地内の「優先的に防災まちづくりを進める地区」を示す。

キ 建築協定等を活用したまちづくり専門家派遣（京都市受託事業）【新規】

建築協定の締結又は地区計画の策定等を目指してまちづくり活動を行う地区を対象に、専門家を派遣し、地域住民の主体的な取組に対して支援を行うとともに、建築協定地区60地区が加入する京都市建築協定連絡協議会の活動支援を行った。

(7) 専門家派遣

新たに建築協定制度又は地区計画制度の活用を検討する地域等への専門家の派遣を行った。

地区	支援内容
下京区 四条通地区	「四条繁栄会商店街振興組合」への活動支援 ・宿泊施設の在り方の検討や、地区計画変更素案の作成等の支援を行うため、専門家を派遣した。
山科区 清水焼団地町	「清水焼団地協同組合」への活動支援 ・まちづくりに主体的に取り組む環境の整備や、まちづくり活動を継続できる体制づくり等の支援を行うため、専門家を派遣した。
東山区 博多町	「博多町」への活動支援 ・宿泊施設の抑制するため、町内で建築協定制度の説明を聞きたいとの希望があったため、専門家を派遣した。
西京区 ガーデンハウス洛西鏡谷公園住宅地区	「ガーデンハウス洛西鏡谷公園住宅地区」への活動支援 ・建築協定の改定に向けて勉強会の希望があったため、専門家を派遣した。

(1) 連絡協議会への活動支援

総会、役員会、研修会などの活動支援や、協議会活動を対象とした補助金の交付を行った。

(2) 京町家再生支援

ア 京町家なんでも相談

京町家の保全、再生、活用について、京町家所有者・居住者の多くが様々な悩みを抱えている。本事業は財団の京町家事業の総合窓口として、相談者に寄り添い、悩みに対して複合的な課題の整理や具体的な方策を示すことにより課題解決につなげた。

(7) 一般相談 367件（平成30年度実績 474件）

当財団職員が一次対応として、相談内容に応じて専門相談や団体紹介を行った。

(イ) 専門相談 50件 ※自主事業6件、受託事業44件 (平成30年度実績 57件)

大工、建築士、不動産事業者等の実務者による専門相談を行った。平成30年10月以降、専門相談は京都市委託事業「京町家所有者と活用希望者等のマッチング制度の運用業務」として実施し、より幅広く、きめ細かな相談対応が可能となった。令和元年度に委託事業として実施した専門相談の件数は44件であり、自主事業とあわせると50件となる。

【相談項目内訳】

令和2年3月31日時点

相談項目	合計件数
改修・修繕	160
活用	80
賃貸	36
売買	49
耐震、防火	16
相隣問題	19
相続、所有権関係	21
維持・管理	23
資金、公的な支援制度	93
京町家まちづくりファンド	28
京町家カルテ	23
京町家等継承ネット	57
その他（視察、協力依頼、情報提供など）	86
合計件数	691

※複数選択のため、相談件数の合計とは一致しない。

(参考) 京町家等継承ネット事業としても相談対応を行っている。

一般相談 8件 (京町家なんでも相談会)	
専門相談 32件	
京町家なんでも相談会	17
京町家なんでも相談会後の往訪相談	3
大型町家継承モデルプロジェクト相談	12

(ウ) 京町家専門相談員

京町家の保全・再生に向けて、支援専門家の育成が不可欠となっている。当財団では、学識・有識者のほか、京都府建築工業協同組合、京都府建築士会、京都府建築士事務所協会、京都府宅地建物取引業協会、認定特定非営利活動法人古材文化の会から推薦を受け、京町

家専門相談員を登録した。京町家専門相談員登録者数 74名（平成30年4月1日時点）

平成30年10月以降、専門相談は京都市委託事業「京町家所有者と活用希望者等のマッチング制度の運用業務」として実施し、「京都市京町家相談員」と制度を新たにした。86名の専門家が登録を行った。制度の運用に伴い、相談員研修として実施していた「京町家専門講座」は廃止し、京都市京町家相談員の登録研修、スキルアップ研修として実施することとした。京都市京町家相談員登録者数 79名（令和2年4月1日時点）

イ 京町家データベース

平成20、21年度京町家まちづくり調査によって調査した約48,000件の京町家等を元にID管理された物件をGIS（地理情報システム）上で地理的に管理する。

個々の京町家について、専門相談、京町家カルテ、京町家まちづくりファンド、建物調査報告書の作成等の相談・対応履歴を入力し、年度毎、個々の京町家に一元的に管理する京町家データベースを運営する。

令和元年度は、平成30年度に引き続き京都市が平成28年度に実施した「現存する京町家に対する基礎調査結果データ」を反映して運営した。

ウ 京町家改修ガイドライン作成業務〔新規〕

京町家を活用した事業を行う事業者は、京都市における観光事業とその歴史的・文化的魅力と相まって、増加傾向にあると思われる一方で、事業用に京町家を改修する際には、伝統的な構法を無視するだけでなく、安全性も十分に確保しない事例が多くみられる。

このため、京町家改修ガイドライン制作委員会を組織して検討を行い、適切な京町家の改修方法や望ましい改修事例等を集約した京町家の改修に関する小冊子「京町家をリノベする、その前に。」を作成した。印刷物を配布するとともにデータをホームページ上で公開し、京町家の適切な改修についての普及促進を図っていく。（令和元年度作成、令和2年度公開。）

京町家改修ガイドライン制作委員会 委員（50音順）

魚谷繁礼	株式会社魚谷繁礼建築研究所 代表
内田康博	一級建築士事務所 内田康博建築研究所 代表
高田光雄	京都美術工芸大学 教授
西村孝平	株式会社八清 代表取締役
宮田裕一	京都府建築工業協同組合(株式会社 宮田工務店 代表取締役)

京町家改修ガイドライン制作委員会 開催経過

R01.10.9	第1回制作検討委員会開催
R01.11.8	第2回制作委員会開催
R01.12.13	第3回制作委員会開催
R02.01.24	第4回制作委員会開催
R02.02.26	第5回制作委員会開催

エ 京町家等継承ネット

京町家等の適切な継承を促進することを目的として、平成 26 年 11 月 21 日、京町家継承ネット（代表 高田光雄 京都美術工芸大学教授、京都大学大名誉教授）が設立された。当財団は事務局として、京町家継承ネットを構成する京町家等の継承に関わる多くの団体、所有者や居住者とともに、京町家等の継承に取り組む。

令和元年度は京町家条例の施行と協調し、大型町家や景観重要建造物に値する京町家に対して積極的な相談の対応を行うとともに、継承・活用のニーズの把握等、継承ネットがその受け皿となった。特に大型町家の継承に対する具体的な支援策の充実が急務であり、継承ネットとしての支援システムの確立を目指した。また、会員との連携を強化する活動を行った。

(7) 運営に関する行事

開催日	内容	出席者
H31. 4. 15	京町家等継承ネットコア会議 ・相談案件、活用希望者の情報共有、活用に関する意見交換等	9
R01. 6. 24	京町家等継承ネット第 6 回全体会議 ・前年度決算、事業計画等の承認	38
R01. 7. 29	京町家等継承ネットコア会議 ・個別の相談案件に関する往訪相談、意見交換等	7
R01. 8. 26	京町家等継承ネットコア会議 ・相談案件、活用希望者の情報共有、活用に関する意見交換等	7
R01. 11. 21	京町家等継承ネットコア会議 ・相談案件、活用希望者の情報共有、活用に関する意見交換等	7
R02. 3. 11	京町家等継承ネットコア会議 ・個別の相談案件に関する往訪相談、意見交換等	7

(イ) 普及・啓発の取組

集中相談会

京町家・空き家の所有者・居住者および京町家に関心のある方を対象とした集中相談会を「京町家なんでも相談会」と題して開催した。相談会の周知については、財団 HP への開催告知の掲載、「市民しんぶん」および「リビング京都」紙への広告掲載を行った。また、相談会場に比較的近い下京区、東山区の京町家の一部へチラシのポスティングを直接行った。

a 京町家なんでも相談会の開催

開催日	会場	参加者
R2. 2. 14・15	ヨリアイマチャ―五条烏丸―	専門相談 17 件、一般相談 8 件

b 相談内容等

- ・ 修繕・改修、活用の相談が大多数を占めた。
- ・ 資金調達、相隣問題に加え、京町家の保全・継承全般に関する相談も寄せられた。
- ・ 京町家への入居や活用を検討している来場者が京町家等継承ネット会員より提供さ

- れた物件情報を自由に閲覧できるように配架を行った。
- 相談会後も引き続き、専門相談等でフォローアップを行っている

c 参加専門相談員

(敬称略)

日付	相談員区分	氏名
14日	宅建士	岩佐 英治
	宅建士	西村 孝平
	宅建士	西村 直己
	宅建士	山下 善彦
	宅建士	吉田 光一
	大工	木村 紀晃
	大工	米田 安志
	建築士	志村 公夫
	建築士	富家 裕久
	税理士	前岡 照紀
	弁護士	小町 崇幸
	司法書士	浅井 健
	司法書士	内田 光人
	京都銀行	綾野 晃
	京都信用金庫	中塚 邦美
	京都信用金庫	上間 翔介
	京都中央信用金庫	白山 雅巳
京都市都市計画局まち再生・創造推進室	小谷 啓太	

日付	相談員区分	氏名
15日	宅建士	岡本 秀巳
	宅建士	中積 一
	宅建士	西村 孝平
	宅建士	林 茂
	宅建士	吉田 光一
	大工	田原 利晃
	大工	辻 勇治
	建築士	末川 協
	建築士	伏木 道雄

	税理士	前岡 照紀
	不動産鑑定士	宮田 真悟
	弁護士	中出威一郎
	行政書士	小西 康雄
	京都銀行	綾野 晃
	京都信用金庫	水谷 英一
	京都中央信用金庫	重野 利明
	京都市都市計画局まち再生・創造推進室	内藤真紀子

d 京町家ミニ講座

京町家なんでも相談会の会場にて、京都の歴史や京町家の活用に関する体験談に関する講座を開催した。

開催日：令和2年2月15日（土）

内 容： 第1回『京のまちと通りの歴史－万寿寺通京町家保全継承地区を例に－』
（参加者数：23名）

講師：山村 純也 氏（株式会社らくたび 代表取締役）

山田正太郎 氏（株式会社いづつ 代表取締役）

第2回『京町家を未来へ 活用に踏み出すために』（参加者数：30名）

講師：寺田 泰三 氏（京町家所有者）

吉田 光一 氏（株式会社フラットエージェンシー 取締役会長）

特別レクチャー

近年、企業の支社、迎賓館、シェアオフィスなど様々な活用手法が生まれている京町家について、最先端の取組や近年の動向を紹介した。

開催日	内 容	出席者
R01.6.23	1 「UNKNOWN KYOTO 五條楽園」の取組 講 師 落海達也氏（株式会社八清） 2 「SUUMO 編集長が語る京都、京町家の魅力、可能性」 ～今注目のデュアラーとは？～ 講 師 池本洋一氏（株式会社リクルート住まいカンパニー SUUMO 編集長兼 SUUMO リサーチセンター長）	52

a 大型町家継承モデルプロジェクト

（相談対応案件 12 件）

京町家等継承ネットで受けた相談案件の大型町家について、継承・活用提案や公的指定のため往訪相談及び活用提案を行った。

I 邸（下京区）：大型町家の将来の相続に向けた相談。親族で協議中。

T 家（左京区）：京町家まちづくりファンドによる改修助成、歴史的風致形成建造物等への指定に向けた支援を経て活用相談中。

- T 邸（下京区）：不動産契約のトラブル解消への助言を経て活用提案中。
- O 邸（西京区）：郊外の街道筋にある古民家。解体してマンション建設を行う契約済みであったが、建物の文化的価値を知りたい、残したいという相談。学識者による見解を伺った。
- A 邸（下京区）：解体の相談であったが、保全・継承に向けた助言を行い、賃貸活用することとなった。
- Y 邸（左京区）：相続後の保全・活用相談。
- K 邸（左京区）：京都大学の研究機関がセミナーや会議を行う場所を近隣で探していたことから、当財団より文化財として公開されている K 邸を紹介し、レンタルスペースとして不定期に利用する予定。
- T 邸（上京区）：相続人が数カ国に複数いることから、複雑な相続相談。
- M 邸（左京区）：解体の相談であったが、改修に向けた計画を支援中。
- H 邸（中京区）：百貨店のポップアップストアによる活用を支援し、令和元年 10 月に 1 ヶ月ほどオープンした。
- Y 邸（西京区）：文化財の古民家の活用相談を受け、コワーキングスペースとして活用され始めた。
- W 邸（東山区）：近代和風住宅の売却の相談。仮契約まで進んだが、購入希望者の都合により成約しなかった。共同購入される予定だった事業者が交渉を継続中。

b 大型町家継承に向けた支援システムの開発

- ・継承・活用マッチングシステムとして「MATCHYA」の WEB、リーフレットを作成し、情報発信を行い、多様な活用事例を提示している。
- ・継承・活用の手法や事例について情報を収集した。

c 京町家の新たな資金調達スキーム構築に関する検討

京町家等継承ネットの取組の一環として、平成 29 年度の資金調達スキーム構築に関する検討会の実績を活かし、一般社団法人京都府不動産コンサルティング協会と共同で京都市の「京町家再生ファンド構築に係る調査・研究業務」を受託した。（詳細は別記）

3 各種団体等との交流及び協働活動

ワールド・モニュメント財団（WMF）との連携

ワールド・モニュメント財団との連携を継続するとともに、京町家の魅力と現代的価値を海外に情報発信することで、海外の諸支援団体とのネットワークの形成を図る。

平成30年度は、第3期京町家再生プロジェクトとして四条町大船鉾保存会会所の改修や普及啓発の事業を、公益財団法人四条町大船鉾保存会、特定非営利活動法人京町家再生研究会、一般社団法人京町家作事組と協働して実施した。令和元年5月には、ワールド・モニュメント財団の役員、寄付者の日本ツアーの受け入れを行い、支援プロジェクトの視察や関係者との交流を図った。

平成30年9月、2018年ユネスコアジア太平洋文化遺産保全賞最優秀賞を四条町大船鉾会所の改修プロジェクトが受賞したことを契機に、令和元年9月、クロアチアで開催された国際会議ベスト・イン・ヘリテイジ2019に招待を受けた。結果、「Members of the excellence Club Member」（優秀賞）に選ばれた。この会議には世界各国の文化遺産保全プロジェクトの42団体、博物館の関係者、ユネスコ、ICOMなどから有識者が参加していた。会議の内容は記録され、Members of the excellence Club Memberのプロジェクトについては動画配信等もされている。

（参考）

- | | | |
|-------------|-----|----------------------|
| 京町家再生プロジェクト | 第1期 | 釜座町町家（平成23年度） |
| | 第2期 | 旧村西家住宅（平成24年度） |
| | 第3期 | 四条町大船鉾会所（平成28～令和元年度） |

〈第3期プロジェクト スケジュール〉

- | | |
|-------|------------------------------|
| H30.9 | 2018年ユネスコアジア太平洋文化遺産保全賞最優秀賞受賞 |
| R1.5 | ワールド・モニュメント財団役員、寄付者の来訪 |
| R1.9 | 2019年ベスト・イン・ヘリテイジで発表、優秀賞受賞 |

4 歴史的建造物の保全、再生、活用に関する各種の支援及び普及、啓発

(1) 歴史的建造物の再生、活用助成関連事業

京都の歴史及び文化の象徴であり、都市居住を支えてきた京町家を育み、未来に伝えるため、寄附金を積み立て、その運用により、京町家の保全、再生、活用を促進し、京都固有の暮らしの文化、空間の文化、まちづくりの文化の継承・発展と、町並み景観の保全及び創造、さらには地域経済の活性化を図ることを目的として、京町家まちづくりファンドを運営する。

平成30年度は、京町家条例の施行を受けて京都市における公的助成の支援メニューが充実したため、京町家まちづくりファンドの位置づけや改修助成事業の今後の方針について転換を図った。令和元年度は助成制度の対象等を見直し、ファンド委員会の構成についても再編を行った。市民に開かれた場づくりやまちづくり活動に寄与する京町家の改修、町並みの保全の観点から通り景観の修景を支援する内容にリニューアルした。

ア 京町家まちづくりファンド委員会運営

- | | |
|------------|------------------------------|
| 平成31年4月23日 | 第41回京町家まちづくりファンド委員会開催 |
| 令和元年8月7日 | 第42回京町家まちづくりファンド委員会開催 |
| 令和2年3月23日 | 第43回京町家まちづくりファンド委員会開催（書面委員会） |

京町家まちづくりファンド委員会委員

【令和元年度委員】敬称略

大場 修	(委員長)	京都府立大学大学院 教授
島田 昭彦	(副委員長)	地域活性プロデューサー、京都観光おもてなし大使、 (株)クリップ代表取締役
浅井 國勝		京都商工会議所 議員、株式会社朝日堂 代表取締役会長
田房 夏波		(株)和える 西日本事業責任者、「aeru gojo」ホストマザー
深尾 昌峰		龍谷大学政策学部 教授
中山 雅永		京都市都市計画局・建築技術・景観担当局長

イ 京町家まちづくりファンドの普及啓発事業

(7) 事業報告会・京町家見学会の実施

令和元年度は年度末に助成事業の改修現場の見学を検討していたが、コロナウイルスの影響により中止することとした。令和元年度助成事業完了分までの記録集を増刷し発送した。

(1) 連携協定締結

一般財団法人日新電機グループ社会貢献基金、京都市、京都市景観・まちづくりセンターで、文化財の維持・保存・活用、京町家の保全・継承及びこれらのPRに関する事業についての連携協定を締結している。令和元年度は京町家の保全・継承に係る改修助成に対し、50万円の寄附をいただいた。

(2) 京町家カルテ・京町家プロフィールの作成

京町家の価値への理解を深め、保全・継承に繋げるため、京町家の歴史や文化的な価値をまとめた「京町家カルテ」、内容はカルテより簡易であるが、発行までの所要時間が短く低料金である「京町家プロフィール」を発行した。

また、令和元年度から、京町家以外の近代和風建築などに対して「京建物カルテ」を発行した。

	令和元年度発行件数	平成30年度発行件数
京町家カルテ	22件	30件
京町家プロフィール	57件	60件
京建物カルテ	2件	—

(3) 京町家に関する普及啓発業務(京町家カルテ簡易版の作成)(京都市受託事業)

所有者の京町家保全・継承に努める意識を醸成するため、京町家条例における個別指定京町家を対象として、新たに京町家カルテの簡易版を作成した。

	令和元年度発行件数	平成30年度発行件数
--	-----------	------------

京町家カルテ簡易版	7件	2件
-----------	----	----

(4) 建物調査報告書作成業務（京都市受託事業）

保全・再生を目指す大型京町家等の所有者に対して、建物調査報告書作成の支援を行い、京都市の歴史的建造物関係各課と連携して、今後の保全や公的指定等に向けた取組を行った。
今年度は、京町家2件について、建物調査報告書を作成した。



（上京区）



（下京区）

(5) 建造物指定に係る調査資料作成業務（京都市受託事業）

京町家条例における個別指定京町家のうち、景観重要建造物又は歴史的風致形成建造物等の指定候補となる京町家について、審議会に提出する諮問資料作成のための調査資料を作成した。

	作成件数
景観重要建造物候補	1
歴史的風致形成建造物候補	7
景観重要建造物及び歴史的風致形成建造物候補	2
合計	10

(6) 京町家の文化教育プログラムの開発・実施業務（京都市受託事業）

次世代を担う子ども達や京町家に関わる事業者・専門家等が、京町家の持つ価値や京町家で

培われた生活文化を理解し、多様な主体で京町家の価値を共有すること目的として、京町家の価値や生活文化を学習することができる教育プログラムの開発・実施を行った。

ア 京町家に関する基礎資料の改訂

京町家に関する基本的な内容を資料化し、公開することで、市による教育活動だけでなく、事業者や民間団体、地域活動等で、資料や教育プログラムを活用した研修等を行うことを可能にし、様々な主体による京町家の普及啓発につなげるため、令和元年度は、平成30年度に調査、収集、作成した基礎資料の改訂を行った。

- (A) 京町家の建築の特徴に関する説明資料、図面、写真、映像等
 - (B) 京町家での住まい方に関する説明資料（行事の記録、季節によるしつらい、自然との共生、地域との関わり等）、写真、映像等
- ※ (A)、(B) を含む資料を「京町家のいろは」として作成した。

「京町家のいろは」は京都市教育委員会を通じて、教員専用のポータルサイトで公開されている他、京都市や当財団のホームページでもデータ公開している。

イ 学校教育向け及び事業者向け教育プログラムの改訂

アで作成した基礎資料をもとに実施した。

(7) 高校生を対象とした授業（京都聖母学院高校）

① 1日目

日時	令和元年10月4日（金）13：20-15：10
場所	京都聖母学院高等学校（伏見区深草田谷町1）
参加者数	京都聖母学院高校3年生の3クラス 106名
授業内容	①『京町家の暮らし、京町家の活用および次回見学する京町家（深草町家キャンパス）』 講師：梶山真樹（（公財）京都市景観・まちづくりセンター事務局次長） ②『京町家の活用事例-京町家を拠点に京都の魅力を発信』 講師：若村亮氏（㈱らくたび 代表取締役） ③『京町家の改修・活用事例-京町家でつまみ細工』 講師：北井秀昌氏（㈱北井 代表取締役）

② 2日目

日時	令和元年10月16日（水）10：45～15：20
場所	龍谷大学深草町家キャンパス（伏見区深草直違橋6丁目303番地）
参加者数	京都聖母学院高校1年生4クラス 123名
授業内容	① 京町家見学（龍谷大学深草町家キャンパスについての資料を配布して説明した。） ② 匂い袋制作（協力：株式会社 松栄堂）

③ 3日目

日時	令和元年10月18日（金）13：30～15：20
場所	龍谷大学深草町家キャンパス（伏見区深草直違橋6丁目303番地） ー下記① 京都聖母学院高等学校（伏見区深草田谷町1） ー下記②および③

参加者数	京都聖母学院高校3年生3クラス104名
授業内容	①京町家見学及びつまみ細工の髪飾り体験 講 師：北井秀昌氏（㈱北井 代表取締役） ②ビデオ鑑賞 ③ワークシートへの記入（テーマ：年中行事、京町家で仕事をする）

(イ) 事業者向け

以下の内容の教育プログラムの試行実施を企画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止した。

下京区介護保険事業者連絡会議学習会 実施計画案

日 時	令和2年3月17日（火）14：00～15：30
場 所	下京区役所4階会議室（下京区西洞院通塩小路東塩小路町608番地8）
企画内容	①司法書士による講演 「住まいの将来を考える基礎講座」（まち再生・創造推進室担当） 講師：浅井健氏（司法書士） ②京町家相談員による講演 「京町家などの古い建物の保全・継承、活用」 講師：吉田光一氏（宅建士、京町家相談員）

ウ 体験学習の場となる京町家の候補リストの拡大

京町家の体験学習の機会の拡大を図るため、体験学習の場となる京町家の新たな候補先の発掘を行った。

5 公共人材育成に関する教育及び研修

(1) インターンシップ受入

当財団を実務経験の場として提供し、大学での履修科目と実際の現場での実務経験を通して、公共的感性を持った人材を育成することを目的に、連携大学からインターンシップ履修生の受入れを実施した。

大 学	学 部 等	人 数	受 入 期 間
京都女子大学	家政学部生活造形学科	2	R1. 8. 5-R1. 9. 6
立命館大学大学院	政策課科学研究科	1	R1. 8. 1-R1. 9. 27

(2) 視察受入

国内外の行政機関、大学等からの視察を受入れ、当財団の活動紹介等を行った。令和元年度は、自主財源増加の取組として、有料化（賛助会員加入）し実施した。

31 団体

受入日	団体名	人 数	内 容
H31. 4. 22	花園中学高等学校	20	京都のまちづくりの取組

H31. 4. 23	浜松市立丸塚中学校	44	京都のまちづくりの特徴
H31. 4. 25	金沢市立浅野川中学校	89	京都のまちづくりの特徴
H31. 5. 10	大阪市立工芸高等学校	41	京都のまちづくりの特徴
H31. 5. 10	九州大学学術研究都市推進機構	2	当財団法人の取組み
H31. 5. 18	京都府立大学	46	当財団法人の取組みと京町家の概要
H31. 5. 22	京都市立西京高等学校附属中学	4	京都の景観の歴史
H31. 5. 24	神戸市景観政策課	3	京町家の保全・継承の取組
H31. 5. 24	Daejeon Regeneration Centre	3	当財団法人の取組
R1. 6. 20	京都造形芸術大学通信教育部	5	京都の景観並びに町並みについて
R1. 7. 11	中国広東省	8	京都のまちづくりの変遷
R1. 8. 1	橿原考古学研究所	4	当財団法人の取組み
R1. 8. 14	鳥羽高等学校	1	京町家について
R1. 8. 19	摂南大学 朝田ゼミ	10	京都のまちの成り立ち、京町家について
R1. 8. 19	西之町まちづくり協議会	10	京都のまちづくりについて
R1. 8. 23	京都大学大学院	21	センターの取組について
R1. 9. 5	群馬県議会	19	まちセンの取組や町並み保存・再生について
R1. 9. 6	ICOM 京都大会京都エクスカージョン	22	センターの取組、事業概要について
R1. 9. 26	学校法人立命館大学 (JICA)	8	京町家の保全・継承について／事業紹介
R1. 10. 16	米子北斗高等学校 2 年生	13	京都のまちなみ保存について
R1. 10. 25	宮城県富谷市議会	10	センターの取組、事業概要について
R1. 10. 30	神奈川県葉山町議会 総務建設常任委員会	7	景観まちづくりや京町家保全・再生、活用に関する相談事例について
R1. 11. 7	神奈川学園高等学校 (1 年)	35	京都の「まちづくり」を町家を通して学ぶ町家再生事例見学
R1. 11. 8	真野中学校 2 年生	5	展示ガイド
R1. 11. 27	学校法人立命館大学 (JICA)	8	京町家の保全・継承について／事業紹介
R1. 11. 28	京都美術工芸大学	60	ひと・まち交流館京都の視察
R1. 12. 3	茗溪学園中学校 3 年生	14	京町家について
R1. 12. 4	中国山東省蓬萊市政府団	4	京都市のまちづくりと景観保全
R1. 12. 19	都立江北高校	3	京都市のまちづくりについて
R2. 1. 28	石垣市商工会観光部会	7	財団の取組み 京町家再生とまちづくり事業について
R2. 2. 17	九州大学 (留学生)	30	京町家について
合 計		556	

(3) 講師派遣

講師派遣の依頼に応じて当財団職員を派遣し、当財団の活動紹介等を行った。

受入日	派遣先	人数	内 容
R1. 9. 24	鎌倉中学校 (京都府民総合交流プラザ)	30	総合学習
R1. 10. 4	京都聖母学院高等学校	104	京町家のくらし、京町家の活用
R1. 12. 22	京都工芸繊維大学大学院	170	歴史的建築物の保存活用を担う人材と組織について考える
合 計		304	

6 景観整備機構に関わる関連業務

景観法に基づく景観整備機構として、景観重要建造物候補に値すると判断した京町家について、京町家なんでも相談や京町家まちづくりファンドの助成事業等と連携し、景観重要建造物への指定を推進すると共に、建物の特性や所有者の意向に応じた他の公的指定（歴史的風致形成建造物、京都を彩る建物や庭園、国登録有形文化財等）への提案も行う。

また、相談等に応じてきた京町家等について、公的指定等に向けて継続的な支援を行っている。

【景観重要建造物 指定済】1件



(中京区)

【歴史的風致形成建造物 指定済】4件



(中京区)



(中京区)



(下京区)



(左京区)

【今後、指定等につながる見込みの案件】2件



(下京区)



(上京区)

【「京都を彩る建物や庭園」に推薦して選定された案件】3件



(下京区)



(左京区)



(下京区)

7 京都市景観・まちづくりセンター管理運営

平成 29 年度から 32 年度までのセンターの指定管理者として選定された。センターの来館者の増加、施設価値の向上を目的として、以下の取組を行う。

- ・センター利用者数 58,160 人（平成 30 年度末実績 60,642 人）

(1) 京のまちかど展示コーナー

展示物やボランティアガイドによる京都のまちづくりの歴史や暮らしを紹介する。

ボランティアガイド 12 名とし、概ね週 3 回はボランティアが配置できる体制が整備された。これを契機として、教育機関への働き掛けや積極的な広報活動により、利用者の増加を図った。

- ・京のまちかど利用者数 36,741 人（平成 30 年度末実績 32,427 人）

＜利用者拡大に向けた取組＞

- ・関西文化の日（関西の博物館等の文化施設連携イベント）に参加

(2) 図書コーナー

ひと・まち交流館 京都 図書コーナーを運営している。

- ・所蔵資料数 令和元年度末時点 ※（）内は平成 30 年度末時点の点数。

内 訳	点 数
一般書籍	14,586 (15,177)
郷土資料	1,019 (985)
行政資料	1,006 (1,228)
視聴覚資料	310 (313)
雑誌	386 (392)
地図、絵本等	541 (536)
合計	17,848 (18,631)

- ・利用状況

内 訳	令和元年度末実績	平成 30 年度末実績
利用者数	20,993 人	22,818 人
利用者カード新規発行数	158 枚	156 枚
利用者カード延べ発行数	3,874 枚	3,716 枚
図書等貸出数	2,598 点	2,789 点

ア 巽和夫文庫の開設について

故・巽和夫氏（元京都大学名誉教授、都市住宅学会初代会長、元全国建築審査会協議会会長）の御遺族や有志による「巽和夫記念文庫プロジェクトチーム」（代表高田光雄 京都大学大学院工学研究科教授）の御協力の下、巽氏が所蔵されていた資料 2,105 冊の蔵書を当財団に寄贈いただいた。これを広く市民の皆様に活用いただくため、ひと・まち交流館図書コーナーに「巽和夫記念文庫」を設置している。

イ 利用者拡大に向けた取組について

①毎月 4 センターが交代で企画した「企画展示」を行っており、2 週間ごとに季節や時事的話題に沿った題材で「ピックアップ」展示を行っている。

②ひと・まち交流館地下1階に設置されている国宝洛中洛外図屏風（上杉本）実物大複製パネルを活用し、屏風に描かれた室町時代の京都の四季とそこに暮らす人々の生活風俗を紹介する催し（ギャラリートーク）を行っている。

又、令和元年度は上杉本 洛中洛外図屏風に描かれている場所を巡るフィールドワークを、ギャラリートーク講師の富名腰氏のガイドのもと、春には上京区を、秋には中京区を中心として実施した。

開催日	テーマ	出席者
H31. 5. 3	「洛中洛外図の上京を歩く」をテーマにフィールドワーク	30
R01. 8. 31	「屏風に描かれた中世の人々」	60
R01. 10. 19	「洛中洛外図の中京を歩く」をテーマにフィールドワーク	23
R02. 1. 25	「応仁の乱後の洛中の城」	28

(3) まちづくり交流サロン

市民に広く開かれたコーナーとして打ち合わせ等ができるサロンを提供している。

(4) まちづくり工房

リーフレット、ホームページ、フェイスブック、メールマガジン等により、地域や活動団体へ積極的に登録及び利用を呼びかけた。

コピー機、印刷機、紙折機、製本機等を設置し主催、共催事業等での活用、登録団体への貸し出しを行った。

<稼働回数> 70回（平成30年度末実績 68回）

(5) ワークショップルーム

景観・まちづくり大学をはじめとする、主催、共催事業等での活用、登録団体への貸し出しを行っている。

<稼働回数>

ワークショップルーム1：185回（平成30年度末実績 216回）

ワークショップルーム2：169回（平成30年度末実績 196回）

ワークショップルーム3：展示施設「京町家情報コーナー」を運営

(6) 地域まちづくり情報コーナー兼京町家情報コーナー

ワークショップルーム3において、京町家の構造などが分かる模型や京町家に関わる活動団体の情報を展示する。また、「まちづくりギャラリー」として、景観・まちづくりに取り組む団体に対し、貸しスペースを提供する。

平成29年2月24日（金）～ 「着物づくりと京町家」展（ミニチュアハウスと紙彩画）を常設展示している。

公2：京町家保全再生事業

良質な地域コミュニティの形成と歴史都市・京都の景観の基盤を構成してきた、京町家等の伝統的建造物を保全・継承し、伝統的な京都の暮らしの文化を今に活かすとともに、歴史資産としてのストックと新たに形成される良質な建造物とが融合した京都らしい活力のある歴史的町並みの形成を目的とする。

1 京町家まちづくりファンド改修助成

京町家まちづくりファンド基本方針に基づき、京町家の再生・修復及び通り景観の修景に係る工事等の活動に対し、改修費用の一部を助成した。

令和元年度交付実績：平成30年度選定の繰越分 3件（太平治家、服部邸、飯田邸）
令和元年度選定分 1件（神楽岡旧谷川住宅群）

合計 4件

【助成金交付案件】

平成30年度選定 太平治家（中京区）

助成対象工事

- ・外壁・外部建具・通り庇の改修

ツシ二階建て片入母屋平入り、志賀越道に面して建つ代々石工を生業としてきた町家。改変されていた1階オモテ部分を減築し、軒深い土間を再生し、木製建具を復元、改修。主屋の奥に千年蔵、口ノ蔵を持つ。北白川天神宮、御旅所の近隣にふさわしい外観にすることを望まれ、北白川の歴史を伝えていけるような活用を目指す。（平成31年4月完了）



改修前



改修後

平成 30 年度選定 服部邸（上京区）

助成対象工事

- ・外壁・外部建具・通り庇・塀の改修

ツシ二階建て切妻平入り、寺ノ内通の一筋北、銚参通に面して建つ織屋建ての町家。開口部のアルミサッシを木製建具に改修、通り庇を修復、ガレージ出入口の鉄扉を高塀に改修した。織屋建て町家に隣接して離れ座敷を持つ。通り景観に寄与するとともに、今後は織物の文化を継承できる場として、地域に開き活用していく予定である。（令和元年 8 月完了）



改修前



改修後

平成 30 年度選定 飯田邸（中京区）

助成対象工事

- ・外壁・外部建具・通り庇の改修

ツシ二階建て切妻平入り、麩屋町通に面して建つ町家。機械工具販売店を営まれ、それ以前は呉服屋であったと伝わる。痕跡調査を行い、オモテの大壁・アルミサッシを平格子・出格子・木製建具に復元改修。通り庇、虫籠窓も復元改修。当初の姿をふまえ復元し、住まいとして継承していく予定である。（令和元年 11 月完了）



改修前



改修後

令和元年度選定 神楽岡旧谷川住宅群（左京区）

助成対象工事

- ・通り景観の修景（側溝溝フタ、外壁板塗装）
- 複数年に渡る修景の予定

吉田山の東斜面に位置し、大正後期から昭和初期にかけて形成された数寄屋の町並みがほぼ原形を残している近代和風住宅群。個別の住宅の公的指定を目指すとともに、住宅群として通りや石垣等の保全と修景を目指す。（令和元年11月完了）



改修前

改修後

(参考)

令和元年度選定 五条坂なかにわ路地（東山区）

助成対象予定の工事

- ・路地内の京町家の外観改修、路地の整備。（令和2年7月竣工予定）

子育て世代を含む多世代が快適に暮らす路地として、コミュニティの形成に寄与することが期待される路地再生事業である。改修には大工棟梁の指導のもと、京都建築専門学校で大工や建築士を目指す学生が実地研修として工事に携わっており、次世代の技術者育成にも貢献している。また、京都美術工芸大学の森重幸子准教授も住人のヒアリング調査や改修計画に関わり、助言をいただいている。



改修前



改修中の様子

2 京町家再生プロジェクト（再掲）

ワールド・モノユメント財団との連携を継続するとともに、京町家の魅力と現代的価値を海外に情報発信することで、海外の諸支援団体とのネットワークの形成を図る。

平成30年度は、第3期京町家再生プロジェクトとして四条町大船鉾保存会会所の改修や普及啓発の事業を、公益財団法人四条町大船鉾保存会、特定非営利活動法人京町家再生研究会、一般社団法人京町家作事組と協働して実施した。令和元年5月には、ワールド・モノユメント財団の役員、寄付者の日本ツアーの受け入れを行い、支援プロジェクトの視察や関係者との交流を図った。

平成30年9月、2018年ユネスコアジア太平洋文化遺産保全賞最優秀賞を四条町大船鉾会所の改修プロジェクトが受賞したことを契機に、令和元年9月、クロアチアで開催された国際会議ベスト・イン・ヘリテイジ2019に招待を受けた。結果、「Members of the excellence Club Member」（優秀賞）に選ばれた。この会議には世界各国の文化遺産保全プロジェクトの42団体、博物館の関係者、ユネスコ、ICOMなどから有識者が参加していた。会議の内容は記録され、Members of the excellence Club Memberのプロジェクトについては動画配信等もされている。

（参考）

- | | | |
|-------------|-----|----------------------|
| 京町家再生プロジェクト | 第1期 | 釜座町町家（平成23年度） |
| | 第2期 | 旧村西家住宅（平成24年度） |
| | 第3期 | 四条町大船鉾会所（平成28～令和元年度） |

〈第3期プロジェクト スケジュール〉

H30.9	2018年ユネスコアジア太平洋文化遺産保全賞最優秀賞受賞
R1.5	ワールド・モニュメント財団役員、寄付者の来訪
R1.9	2019年ベスト・イン・ヘリテイジで発表、優秀賞受賞

収益事業

京町家まちづくりクラウドファンディング活用支援事業

広く国内外からの投資を募り、民間からの資金を導入することにより、幅広い担い手による京町家の保全・再生・活用を行い、もって京都固有のくらしの文化、空間の文化、まちづくりの文化の継承、発展と、まちなみ景観の保全及び創造、さらには地域経済の活性化を図ることを目的とし、クラウドファンディングを利用した京町家の改修を支援する。

(1) 活用事業者の選定及び支援

京町家を改修、活用して事業を実施しようとする活用事業者を選定し、クラウドファンディングの仕組みを利用し、京町家の改修費用を調達する際に、資金面での支援を行う。

令和元年10月から第5回の支援事業者の募集を開始した。金融機関や京町家関連事業者等への個別の働きかけなど、応募に向けた取組を進めたものの、申込みがなかった。

(2) 京町家まちづくりクラウドファンディング委員会運営

公正かつ効果的なファンドの管理及び運営を行うため設置した京町家まちづくりクラウドファンディング委員会を運営する。指定事業者及び活用事業者の選定について審議を行う。

令和元年度は申込がなかったため、京町家まちづくりクラウドファンディング委員会を開催していない。

法人運営

1 理事会・評議員会

理事会、評議員会等を下表のとおり開催した。

【理事会】

回	開催日	主要審議（報告）事項
第 27 回	R01. 6. 7	平成 30 年度事業報告及び決算について 顧問の推薦について 評議員会への理事候補者名簿の提出について
第 28 回 (書面理事会)	R01. 6. 27	理事長の選任 専務理事の選任
第 29 回 (書面理事会)	R01. 10. 9	令和元年度補正予算について
第 30 回 (書面理事会)	R01. 1. 10	第 16 回評議員会の開催について
第 31 回 (書面理事会)	R02. 3. 12	令和 2 年度事業計画及び収支予算について 令和 2 年度資金運用計画について

【評議員会】

回	開催日	主要審議（報告）事項
第 15 回	R01. 6. 27	平成 30 年度事業報告及び決算について 理事の選任について
書面報告	R2. 3. 24	令和 2 年度事業計画及び収支予算について 令和 2 年度資金運用計画について

【評議員選定委員会】

回	開催日	主要審議（報告）事項
第 5 回	R01. 6. 21	評議員の選任について

2 賛助会員管理

賛助会員の拡大を目指し、当財団の事業活動を通じ積極的な呼び掛けを行うほか、団体会員の増加のため企業訪問等を行った。

また、平成 28 年から賛助会費が所得税の税額控除（従前は所得控除）対象となり新規会員の拡大に努めた。

<入会状況> 令和元年度末 ※（）内は平成 30 年度末の実績。

種別	延べ人数、団体数	会費収入
個人会員	133 人（178 人）	820,000 円（1,100,000 円）
団体会員	23 団体（23 団体）	1,150,000 円（1,200,000 円）
		1,970,000 円（2,300,000 円）

【参考】（年間会費）個人（1 口） 5,000 円
団体（1 口） 50,000 円

3 職員研修の充実

職員の資質、能力向上を図ることを目的として、「京都市文化財マネージャー育成講座(建造物)」、「令和元年度 京都景観エリアマネジメント講座 基礎講座」研修に参加。

開催日	研修名	講師
R1. 4. 2-4. 3	新任職員研修	当財団職員
R1. 4. 10	京町家事業について	当財団職員
R1. 5. 28	らくなん進都のまちづくり、ターミナルにおける防災対策推進事業、都市づくり担当ラインの業務、京都市の空き家対策について、密集市街地・細街路対策事業について、京町家保全継承	まち再生・創造推進室 外菌係長 88 (らくなん担当) 寺谷課長 (都市づくり担当) 矢田部課長 (空き家担当) 足立課長 (密集市街地担当) 関岡課長 (京町家保全継承担当)

まちづくりコーディネーターに業務関連資格の所得奨励制度を実施し宅地建物取引士試験1名合格

4 その他

環境改善の取組として、KES（環境マネジメントシステム）ステップ1を推進した。

<取組内容>

環境改善項目	
省エネルギー化	電力使用量 13%削減 (平成 29 年度基準)
省資源化	事務用紙使用量削減 26%削減 (平成 29 年度基準)
啓発活動	建物周辺の清掃 (毎月 1 回 7 人以上の参加)
省エネルギー化	京町家カルテ作成 23 件 京町家プロフィール作成 66 件